

上場会社名 株式会社 ソフトフロント

上場取引所 大

コード番号 2321 URL <http://www.softfront.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 阪口 克彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 財務・管理統括担当

(氏名) 佐藤 健太郎

TEL 011-623-1001

四半期報告書提出予定日 平成20年8月12日

配当支払開始予定日

未定

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-----|------|------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 21年3月期第1四半期 | 125 | — | △94 | — | △94 | — | △94 | — |
| 20年3月期第1四半期 | 110 | 25.8 | △100 | — | △100 | — | △99 | — |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 21年3月期第1四半期 | △1,098.89 | — |
| 20年3月期第1四半期 | △1,158.74 | — |

(2) 財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | | 1株当たり純資産 | |
|-------------|-------|---|-------|---|--------|---|-----------|--|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 | |
| 21年3月期第1四半期 | 1,106 | — | 1,055 | — | 95.4 | — | 12,230.60 | |
| 20年3月期 | 1,209 | — | 1,149 | — | 95.1 | — | 13,329.50 | |

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 1,055百万円 20年3月期 1,149百万円

2. 配当の状況

| (基準日) | 1株当たり配当金 | | | | |
|------------|----------|--------|--------|-----|-----|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 年間 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 20年3月期 | — | — | — | — | — |
| 21年3月期 | — | — | — | — | — |
| 21年3月期(予想) | — | — | — | — | — |

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|-------|------|------|---|------|---|-------|---|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期累計期間 | 365 | — | △96 | — | △96 | — | △98 | — | △1,135.94 |
| 通期 | 1,020 | 51.1 | 60 | — | 60 | — | 55 | — | 637.52 |

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 86,272株 20年3月期 86,272株

② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 1株 20年3月期 1株

③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 21年3月期第1四半期 86,272株 20年3月期第1四半期 86,039株

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がありますので、業績予想等に全面的に依存した投資等の判断は差し控えます。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、2ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期会計期間（平成20年4月1日～平成20年6月30日）におけるわが国経済は、原油などエネルギー・原材料価格の高騰が響き、設備投資計画の伸びが鈍化するなど、景況感の悪化が懸念される状況にあります。

このような状況の中、常に技術革新が進む通信業界においては、携帯電話によりマルチメディアサービスを実現させるための標準規格であるIMS（IP Multimedia Subsystem）が、高速なデータ通信速度をサポートする第3.5世代（3.5G）携帯電話の普及・拡大や、WiMAX/LTE（Long Term Evolution）などの高速無線技術の新規導入計画とともに注目を集めております。また、固定（Fixed）電話と携帯（Mobile）電話を融合（Convergence）させる「Fixed Mobile Convergence（FMC）」サービスの展開においても、従来、法人向けの対応が中心であった処、個人向けサービスも開始されるなど、今後の成長が期待されます。更に各通信事業者が力を入れているNGN（Next Generation Network）構想も注目されており、特に平成20年3月にNTT東日本/西日本が開始したNGN商用サービスにおいては、平成20年度第2四半期から本格展開が開始され、第3四半期までに政令指定都市、県庁所在地級都市へ展開される予定で、提供エリアの拡大と共に新たなサービスの拡充が期待されております。これらの携帯電話やNGNの分野を中心とした通信業界の活発な動きを受け、他社との差別化のための新規サービスや新製品の需要が高まると予想され、今後様々な分野においてSIP関連技術を取り入れた端末の市場が立ち上がってくると見込んでおります。

このような市場環境の中、平成20年3月に新たに策定した中期経営計画の下、当社の当第1四半期会計期間の業績は、売上高125,335千円、営業損失94,888千円、経常損失94,585千円、四半期純損失94,803千円となりました。

売上高につきましては、受託開発売上の増加により、125,335千円（前年同期比13.9%増）と前年同期実績を15,280千円上回る増収となりました。受注高228,024千円（前年同期比83.8%増）も増加しており、営業体制の変更を中心とした営業力の強化に重点を置いて対処したことの効果が現れており、平成21年3月期の売上拡大に向けて、順調なスタートを切れたと考えております。

売上原価につきましては、受託開発に関わる労務費や減価償却費の増加等により、81,608千円（前年同期比89.0%増）と増加し、売上総利益につきましては、43,726千円（前年同期比34.6%減）と前年同期実績を23,153千円下回りました。

販売費及び一般管理費につきましては、経費削減に努めると共に、緊急性の低い研究開発案件を抑え、開発人員をより多く受託開発案件に割り当てたことに伴い、研究開発費が減少し、138,614千円（前年同期比17.1%減）と減少いたしました。

これらの結果、販売費及び一般管理費を抑制したものの、売上総利益が減少したため、94,888千円の営業損失（前年同期は100,229千円）を計上しております。

経常損失につきましては、受取利息などの営業外収益が302千円（前年同期比15.4%減）となり、営業外費用の計上はなく（前年同期は352千円）、94,585千円の経常損失（前年同期は100,223千円）を計上いたしました。

税引前四半期純損失につきましては、貸倒引当金戻入額による特別利益386千円（前年同期比65.8%減）を計上したことにより、94,198千円の税引前四半期純損失（前年同期は99,091千円）を計上いたしました。

四半期純損失につきましては、法人税等を605千円計上したため、94,803千円（前年同期は99,696千円）を計上いたしました。

2. 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期会計期間末における総資産1,106,502千円（前事業年度末比8.5%減）の内訳は、主に現金及び預金が691,228千円（前事業年度末比2.7%増）、売掛金が113,905千円（前事業年度末比52.0%減）、ソフトウェア196,812千円（前事業年度末比0.7%増）となっております。なお、純資産は1,055,158千円（前事業年度末比8.2%減）となり、自己資本比率は95.4%（前事業年度末比0.3ポイント増）と依然高い水準を維持しております。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成20年5月9日に公表した平成21年3月期の業績予想からの変更はありません。

NGN商用サービス関連分野や携帯電話分野を中心として、今後もSIP関連技術を利用した先進的なネットワーク構築や端末機器開発等の開発需要の伸びを見込んでおります。

(注) 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がありますので、業績予想等に全面的に依存した投資等の判断は差し控え願います。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

該当事項はありません。

2. 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①「四半期財務諸表に関する会計基準」等の適用

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

②たな卸資産の評価基準及び評価方法の変更

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

なお、これによる損益に与える影響はありません。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 当第1四半期会計期間末 (平成20年6月30日) | 前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日) |
|--------------|-----------------------------|--------------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 691,228 | 673,113 |
| 売掛金 | 113,905 | 237,509 |
| 原材料 | 9,918 | 6,706 |
| その他 | 22,651 | 24,098 |
| 貸倒引当金 | △365 | △751 |
| 流動資産合計 | 837,338 | 940,676 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 20,526 | 21,565 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 196,812 | 195,444 |
| その他 | 5,577 | 5,722 |
| 無形固定資産合計 | 202,390 | 201,167 |
| 投資その他の資産 | | |
| 差入保証金 | 46,097 | 46,097 |
| その他 | 33,764 | 31,788 |
| 貸倒引当金 | △33,614 | △31,638 |
| 投資その他の資産合計 | 46,246 | 46,246 |
| 固定資産合計 | 269,163 | 268,979 |
| 資産合計 | 1,106,502 | 1,209,655 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 営業未払金 | 10,044 | 21,437 |
| 未払法人税等 | 3,459 | 8,128 |
| 製品保証引当金 | 4,202 | 3,767 |
| その他 | 33,638 | 26,359 |
| 流動負債合計 | 51,343 | 59,692 |
| 負債合計 | 51,343 | 59,692 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,742,915 | 2,742,915 |
| 資本剰余金 | 2,525,075 | 2,525,075 |
| 利益剰余金 | △4,212,831 | △4,118,027 |
| 株主資本合計 | 1,055,158 | 1,149,962 |
| 純資産合計 | 1,055,158 | 1,149,962 |
| 負債純資産合計 | 1,106,502 | 1,209,655 |

(2) 四半期損益計算書
 (第1四半期累計期間)

(単位：千円)

| | 当第1四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日) |
|--------------|---|
| 売上高 | 125,335 |
| 売上原価 | 81,608 |
| 売上総利益 | 43,726 |
| 販売費及び一般管理費 | 138,614 |
| 営業損失(△) | △94,888 |
| 営業外収益 | |
| 受取利息 | 173 |
| 受取配当金 | 2 |
| その他 | 127 |
| 営業外収益合計 | 302 |
| 経常損失(△) | △94,585 |
| 特別利益 | |
| 貸倒引当金戻入額 | 386 |
| 特別利益合計 | 386 |
| 税引前四半期純損失(△) | △94,198 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 605 |
| 法人税等合計 | 605 |
| 四半期純損失(△) | △94,803 |

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 当第1四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日) |
|-------------------------|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | |
| 税引前四半期純損失(△) | △94,198 |
| 減価償却費 | 27,052 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | △386 |
| 製品保証引当金の増減額(△は減少) | 434 |
| 受取利息及び受取配当金 | △175 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 123,604 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △3,212 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △11,393 |
| 未収消費税等の増減額(△は増加) | 3,793 |
| 未払消費税等の増減額(△は減少) | 2,515 |
| その他 | △1,166 |
| 小計 | 46,868 |
| 利息及び配当金の受取額 | 175 |
| 法人税等の支払額 | △2,420 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 44,624 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | |
| 無形固定資産の取得による支出 | △27,237 |
| 貸付金の回収による収入 | 680 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △26,557 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 47 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 18,114 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 673,113 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 691,228 |

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

(生産、受注及び販売の状況)

(1) 生産実績

当第1四半期会計期間の生産実績を主要販売形態別に示すと次のとおりであります。

| 区 分 | 当第1四半期会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日) | |
|----------|---|--------|
| | 金額(千円) | 構成比(%) |
| ソフトウェア販売 | 27,657 | 33.9 |
| 受託開発 | 53,951 | 66.1 |
| 合計 | 81,608 | 100.0 |

(注) 1. 金額には、消費税等は含まれておりません。

2. ソフトウェア販売の金額は、ソフトウェア提供のための製造原価を記載しております。

(2) 受注状況

当第1四半期会計期間の受注状況を主要販売形態別に示すと次のとおりであります。

| 区 分 | 当第1四半期会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日) | |
|----------|---|--------------|
| | 受注高 (千円) | 受注残高 (千円) |
| ソフトウェア販売 | 27,374 | 28,995 |
| 受託開発 | 200,650 | 140,216 |
| 合計 | 228,024 | 169,212 |

(注) 金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第1四半期会計期間の販売実績を主要販売形態別に示すと次のとおりであります。

| 区 分 | 当第1四半期会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日) | |
|----------|---|--------|
| | 金額(千円) | 構成比(%) |
| ソフトウェア販売 | 38,595 | 30.8 |
| 受託開発 | 86,740 | 69.2 |
| 合計 | 125,335 | 100.0 |

(注) 1. 金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 当第1四半期会計期間の主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

| 相 手 先 | 当第1四半期会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日) | |
|------------------|---|--------|
| | 金額(千円) | 割 合(%) |
| 株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ | 35,426 | 28.3 |
| 株式会社ケイ・オブティコム | 21,042 | 16.8 |
| 株式会社オーネスト | 12,783 | 10.2 |

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期損益計算書

| 科目 | 前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期) |
|----------------|-------------------------------|
| | 金額(千円) |
| I 売上高 | 110,054 |
| II 売上原価 | 43,174 |
| 売上総利益 | 66,880 |
| III 販売費及び一般管理費 | 167,109 |
| 営業損失(△) | △100,229 |
| IV 営業外収益 | 357 |
| V 営業外費用 | 352 |
| 経常損失(△) | △100,223 |
| VI 特別利益 | 1,132 |
| 税引前四半期純損失(△) | △99,091 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 605 |
| 四半期純損失(△) | △99,696 |

(2) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

| 区分 | 前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期) |
|-----------------------|-------------------------------|
| | 金額(千円) |
| I 営業活動によるキャッシュ・フロー | 168,492 |
| II 投資活動によるキャッシュ・フロー | △31,952 |
| III 財務活動によるキャッシュ・フロー | 25,654 |
| IV 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 39 |
| V 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 162,234 |
| VI 現金及び現金同等物の期首残高 | 855,941 |
| VII 現金及び現金同等物の期末残高 | 1,018,175 |